

最先端の施設向け AI 警備システム『アジラ』を

三菱地所・新丸ビルに納入

映像解析 AI を活用し、事故や事件の拡大を防止

株式会社アジラ(本社:東京都町田市、代表取締役:木村大介)は、2022年10月7日に施設向け AI 警備システム『アジラ』を三菱地所株式会社(本社:東京都千代田区大手町、執行役社長:吉田淳一)の新丸の内ビルディング(新丸ビル)に納入致しました。



施設向けAI警備システム
「アジラ」

三菱地所
新丸ビルに納入



■背景

社会インフラや大型商業施設、オフィスビルなどでは、近年防犯対策として多数のカメラが設置されており、人々の安全・安心に対する意識が高まる一方で、膨大な映像の中から異常を瞬時に判別・通知し、警備員が即応することにより、犯罪の未然防止や、緊急・救急要請の迅速化への要望も増えてきています。

そのような中で三菱地所株式会社は、施設向け AI 警備システム『アジラ』を新丸ビルに導入することで、異常行動や不審行動を検知し、より安心・安全で快適なまちづくりを実現していきます。

■『アジラ』とは

当社が提供する『アジラ』は、既存のカメラシステムを AI 化できる施設向け AI 警備システムです。カメラ映像の中から、異常行動(転倒、卒倒、ケンカ、破壊行動)や不審行動(千鳥足、ふらつき、違和感行動)を検出したときのみ、瞬時に映像を通知することができるため、映像を監視する警備員の業務を軽減でき、見逃しや見落としも無くすることができます。AI であるアジラの特徴として、導入後数日間で防犯カメラに映る人々の行動を自ら学習し、それらの行動から外れた通常とは異なる行動(同じ画角内でうろろしている、きょろきょろしているなど)を「違和感行動」として検知します。これにより、事件や事故が発生する前の予兆行動をも捉え、通知することができるため事故の予防にも寄与します。

さらに以下の特徴があります。

- 映像は、人物を骨格で認識し、行動認識 AI により人の動きの特徴を検知し分類・保存するため、個人情報保護の安全度が高まります。

- カメラ毎の環境に合わせて自動的にチューニングできるため、夜間の清掃や工事など、検知する必要のない事象を異常検知から除くことができ、不要な通知を減らすことができます。
- 今後はオプションで人物の行動による認証機能を追加でき、常習性のある犯罪者(窃盗)を特定・検知することで、防犯に役立てることが可能になります。

[施設向け AI 警備システム「アジラ」について詳細はこちらから](#)

■株式会社アジラについて

会社名:株式会社アジラ

所在地:東京都町田市中町一丁目4-2

代表者:代表取締役 木村 大介

資本金:3億2,638万円

設立:2015年6月1日

事業内容:AI警備システム『アジラ』開発と販売、行動認識 AIソリューションの提供

公式HP:<https://www.asilla.jp/>

【受賞歴】

- ・ASCII STARTUP『IoT H/W BIZ DAY Product Pitch 2021』防災テック賞
- ・X-PITCH 2021 Best Startup of Public Service / Healthcare
- ・不動産テックピッチコンテスト2021 3位入賞
- ・docomo 5G DX AWARDS 2021 準優秀賞
- ・MAKE IN VIET NAM2020 優勝
- ・Plug and Play Japan Summer/Fall 2019 EXPO Domestic Winner 受賞



※「アジラ」の名称・ロゴは、日本国およびその他各国において、「AsillaPose®」の名称・ロゴは、日本国において株式会社アジラの登録商標です。

※記載されている会社名・商品名は、各社の商標または登録商標です。

※プレスリリースに掲載されている内容、サービス／製品の価格、仕様、お問い合わせ先その他の情報は、発表時点の情報です。その後予告なしに変更となる場合があります。